

- 1 新着任部隊長紹介
- 2 第5旅団最先任上級曹長交代
- 3 第6普通科連隊幹部任官行事
- 4 第5戦車大隊幹部任官行事
- 5 第4普通科連隊らっぱ競技会



新着任部隊長紹介



第5特科隊長

氏 名 いしざき よしお
石崎 美生

階 級 1等陸佐

生年月 昭和48年5月

出身地 山形県



第5偵察隊長

氏 名 あけの しんご
明野 真吾

階 級 2等陸佐

生年月 昭和54年11月

出身地 北海道



第5施設隊長

氏 名 こばやし たいそう
小林 泰三

階 級 2等陸佐

生年月 昭和56年8月

出身地 福岡県



第5高射特科中隊長

氏 名 たしろ まさし
田代 将司

階 級 3等陸佐

生年月 昭和50年7月

出身地 佐賀県

第5旅団最先任上級曹長交代

第5旅団（旅団長 廣恵陸将補）は、3月10日（水）帯広駐屯地において、第5旅団最先任上級曹長交代式を行い、3月15日（月）付で吉村准尉が第5旅団最先任上級曹長に上番しました。

旅団隷下部隊先任上級曹長等及び帯広駐屯地に所在する陸曹・陸士が参加する中、吉村准尉は式において「楽しく、そして、厳しく」をモットーに、「旅団長の補佐者として、隊員の育成及び部隊の精強化のため、各部隊最先任等との信頼関係を築き、連携を密にし、任務に邁進したい」と決意を述べられました。



第5旅団最先任上級曹長

氏 名 よしむら はやお
吉村 早男

階 級 准陸尉

生年月 昭和43年8月

出身地 北海道（帯広市）

趣 味 燻製造り
レザークラフト

好きな
言 葉 不易流行

第6普通科連隊幹部任官行事

第6普通科連隊（連隊長 佐藤 1佐）は、3月12日（金）及び13日（土）、美幌駐屯地及び美幌町内において、それぞれ幹部任官行事を行いました。

第1普通科中隊（中隊長 井口 1尉）は、3月13日（土）、美幌町内及び同町内リリー山スキー場において、青田優希 3等陸尉の幹部任官行事を行いました。

青田 3尉は、同日午前4時30分の非常呼集後、速やかに準備を整え美幌駐屯地からリリー山スキー場までの約7kmを駆け足でスキー場頂上へ登坂し、頂上到着後、井口中隊長から青田 3尉に階級章が授与され、頂上で待ち受けていた中隊の隊員から盛大な祝福を受けました。

第3普通科中隊（中隊長 川井 3佐）は、3月12日（金）、美幌駐屯地において、大久保秀章 3等陸尉の幹部任官行事を行いました。

大久保 3尉は、同日13時30分の非常呼集により、速やかに準備を整えた後、スキー機動から中隊旗を掲げながらの約3kmの駆け足行進、引き続き5名の銃剣道経験者との試合を行い、終了後、川井中隊長から階級章が授与され、最後に中隊長以下隊員揃って記念写真の撮影を行いました。

3等陸尉に任官した2名は、忘れられない一日を乗り越え、幹部自衛官として新たな一歩を踏み出しました。



記念写真(第3普通科中隊)



決意表明(青田3尉)



約7kmの目的地まで駆け足(青田3尉)



スキー場頂上まで登坂(青田3尉)



階級章授与(青田3尉)



声援を受けながらスキー機動(大久保3尉)



中隊旗を掲げて駆け足(大久保3尉)



銃剣道で対戦(大久保3尉(写真左))

第5戦車大隊幹部任官行事

第5戦車大隊（大隊長 結城2佐）は、3月13日（土）鹿追駐屯地において、幹部候補生2名（永間3尉、森3尉）に対し「令和2年度幹部任官行事」を行いました。

早朝、非常呼集により招集された2名は、速やかに戦車の位置まで駆け足で前進して戦車に乗車するとともに、受領した攻撃命令に基づき前進を開始しました。

攻撃前進間、射撃陣地から各中隊が作成した任官を祝福するメッセージを確認して安堵したところ、敵の攻撃により戦車が損耗したとの想定で下車戦闘に移行しました。

その後、スキー機動により前進後、各種状況に対処し、周囲の熱い声援を受けながら最後の力を振り絞って克服し、申告の場に到達しました。

申告時、大隊長から「これだけの声援・任官を祝ってくれる仲間の期待に応えられるよう、立派な幹部自衛官となるよう期待する」と激励された任官者2名は、「期待に応えられるよう頑張ります」と力強く宣言しました。



射撃陣地よりメッセージを確認



スキー機動により前進



格闘開始！



渾身の蹴り！



申告



記念撮影

第4普通科連隊らっぱ競技会

第4普通科連隊（連隊長 甲斐1佐）は、3月18日（木）帯広駐屯地において「令和2年度連隊らっぱ競技会」を行いました。

本競技会は、連隊のらっぱ吹奏能力の維持・向上を図るとともに、部隊の士気高揚及び団結強化を目的とし「中隊対抗の部」及び「個人の部」で争われました。

中隊対抗の部は7名で3コ課題（警報号音・礼式譜・行進譜）の総合得点、個人の部は各中隊から4名選出の合計16名でトーナメント方式により行われました。

審査員には、第5音楽隊（隊長 櫛引2尉）の隊員も加わり、プロフェッショナルな審査のもと、個人の部の上位トーナメント及び決勝戦は紅白旗による判定で決し、選手はもちろん応援者も判定の瞬間は旗がどちらに多く上がるのか固唾を飲んでいました。

結果は、中隊対抗の部は「本部管理中隊」が優勝し、個人の部は「本部管理中隊 菅沼士長」が昨年度に引き続き見事2連覇を成し遂げました。

選手たちは、日頃の練成成果を充分に発揮し、本年度最後の競技会をきれいな音色で締めくくりました。

また、競技終了後には第5音楽隊による士気高揚演奏が行われ、隊員たちは競技会の緊張も和らぎ心に響く音色に魅了されていました。



息を合わせた吹奏をする選手たち



軽快な行進譜に合わせて行進する選手たち



審査員の紅白旗による判定



中隊対抗の部優勝
本部管理中隊



第1位 菅沼士長
第2位 尾崎1曹

個人の部表彰者



第5音楽隊による
士気高揚演奏



Twitter

陸上自衛隊第5旅団【公式】ツイッターをぜひご覧ください！



第5旅団YouTubeチャンネルの登録をお願いします！



・各種イベントや部隊の紹介、過去の「ひがし北海道だより」など情報が盛りだくさん！ぜひクリックを！

第5旅団
ホームページ

検索

